

令和5年度 秋季卒業式

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。ご参列の保護者の皆様、ご家族の皆様、本日は誠におめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。

高校生活を終え、これから新たな一歩を踏み出すことになるみなさんに、私から一つお話をしたいと思います。

ダイソンという会社の名前を聞いたことがあるでしょうか？ダイソン社は、電気機器の製造販売を手掛けるイギリスの会社で、サイクロン式の掃除機を開発した会社として有名です。

この会社は、1993年にジェームズ＝ダイソン氏によって設立されました。それまで掃除機といえば紙パック式の掃除機が主流でしたが、ダイソン氏はまだゴミが満杯にもなっていないのに、吸引力が落ちてしまう紙パック式の掃除機に疑問を感じ、新しいタイプの掃除機の開発に着手しました。

これがサイクロン式の掃除機です。今でこそ、このサイクロン式の掃除機は一般的ですが、当時は未知のもので、開発にあたっては試行錯誤の連続でした。ダイソン氏は、当時のことを次のように振り返っています。

「2627台目の試作機のころ、私と妻はまさしくカツカツの生活だった。3727台目の試作機ができたころ、妻は生活費の足しにするため、美術教室を開いていた。つらい時期だったが、一つ一つの失敗によって、問題の解決に近づくことができた。私はただ努力を続けた。」

これだけ失敗が続けば、たいていの人は諦めます。しかし、ダイソン氏は「失敗はうまくいかない方法を見つけただけ」という言葉を残した発明王エジソン氏の信奉者であり、サイクロン式の成功を確信していたダイソン氏は決してあきらめることはありませんでした。

そして、その後もあきらめることなく試作機をつくり続け、最終的に製品となる掃除機を開発したのは、なんと5127台目の試作機だったそうです。着手から4年間の歳月が流れていました。

このときダイソン氏は、多額の負債を抱え、「このプロジェクトを成功させるか、破産するか」のいずれかしかないぎりぎりの状態に追い込まれていたそうです。

ダイソン氏は、成功に必要なのは「あきらめの悪さ」と「失敗から学ぶ力」と言っています。

自分の夢を実現するためには、まずは行動を起こさなければ、何事も始まりません。しかし、行動したからといって必ずしも思ったような成果が出るとも限りません。大切なのは、失敗から学び続け、自分の夢の実現に向かってあきらめずに努力を続けることです。

これから自分の夢の実現を目指して新しい世界へ踏み出す卒業生の皆さんも、うまくいかないことや、こんなに頑張っているのに成果が出ない、と悔しい思いをすることがあるかもしれません。そのようなときも、自分の力を信じ、一つ一つの行動から成果と改善点を学び取り、途中であきらめたり、投げ出したりせずに努力を続けていてもらいたいと思います。

結びに、これまで本校の教育活動に多大なご理解とご協力を賜りました保護者の皆様、ご家族の皆様にご感謝を申し上げますとともに、卒業生の皆さんの努力が幸多き未来へとつながることを祈念し、式辞といたします。

令和5年9月27日

広島市立広島みらい創生高等学校長 井林 秀樹